

全員協議会 会議録（要点筆記）

平成26年9月26日（金）

午後 1時00分 開会

午後 1時50分 閉会

場所： 全員協議会室

〔上程議案の補足説明〕

1 半田市新庁舎建設工事請負変更契約の締結について

水野節総務部長：資料に基づき説明

質疑なし

〔報告案件〕

1 「マイレポはんだ」の本運用について

堀寄敬雄企画部長：資料に基づき説明

久世孝宏議員：実証実験が終わってから、10月1日まですごく期間があったような気がしますが、遅くなったというか、このタイミングにした理由と実証実験の結果についてもっと詳細な資料というか結果が見たいのですが、資料があるのか、どこか見れば載っているのか。

堀寄敬雄企画部長：資料につきましては、後ほど交換箱を通じて皆さまに実証実験の結果をお配りさせていただきます。あと、何故これほど時間がかかったかということですが、例えば、投稿された事がある方は分かると思いますが、今までは、一枚の写真しか投稿が出来ませんでした。しかし、一枚ではなかなか伝えきれないケースがありまして、複数枚の写真が投稿できるようになどというところを始めとして、一緒にやっていたいるダッピスタジオという、このアプリを開発している開発者の方とご相談をして、より沢山の自治体でこのシステムを使っていたるように仕様の変更をしておりましたので、それで時間がかかったことが理由であります。

2 地域担当職員制度モデル事業の実施について

堀寄敬雄企画部長：資料に基づき説明

新美保博議員：このことというのは、地元から、市民からそういう要望があったのかどうか。例えば会議に役所の人に来て話を聞いてくれとか、ということがあってこういう制度を設けたのか、まちづくりには、こういうことをした方がいいと行政サイドが思ったから、制度を作ったのか。

堀寄敬雄企画部長：行政側の我々の思いとしましても、再三お話をしておりますが、市長の方から現場主義とよく言われている中で、いかに地元の皆さまのご意見を吸い上げるかということで、こういった構想は持っておりました。資料の5ページにありますが、実際には横川小学校区ですとか、亀崎の小学校区などでやっているこれらの事業には地域担当制度という名前ではありませんが、市民協働課の職員が正にそういう役割を果たすために、こういった会議に参画をさせていただ

いております。そういった現場を見た区長さん等から、いろんな自治区でこういうことをやってくれないかというご要望もありましたので、こういった形で地域担当職員制度というものを制度化出来ればということで動き出しました。というのが経緯です。

新美保博議員：ぜひ気をつけていただきたいことがあって、行政協力員と言われていた人たちの思いと、それではない人たちの思いは、ひとつではないということ。これだけは理解をしていただきたい。それと、会議に職員が入ったときに何故あの人たちがいるんだということを住民の人が感じないように、これを進めるうえでの最初の一步だと思うので、ボタンの掛け違いをしてしまうと誤解を生んでしまうことになるので、最初にこういうことだと、だから話を聞いてもらおうと、先ほど言ったように、会議に職員がいて、何故あの職員はここに来ているのかと思わせてしまうと会議にならないという心配が2点ほどあるので、十分注意して進めてください。

堀寄敬雄企画部長：そういった点は正に我々も危惧しているところであります。先ほども少しふれましたが、こういうことをやると行政側が各自治区に一律に2人ずつ職員を行かせるのでお願いしますというのが今までのやり方だったのですが、この制度につきましては、まず自治区側のご要望をお聞きしまして、今でも実際に自治区の中には、我々の自治権の侵害だというご意見の区もあつたりします。そういった所には無理やり職員を配置するというようなことはしませんし、逆にぜひそういった職員を配置して欲しいというご要望があつた所に職員を配置するような、自治区それぞれの形態に合わせるような形での配置を考えておりますので、今、新美議員が言われたようなところについては細心の注意を払って進めたいと思っております。

松本如美議員：決算の時に横川の住人でもあるので一定の評価をして地域が元気になっている状況はお伝えしたところでありますけれど、それは課の業務の範疇でやっているものですから、業務として受け止めてそういう評価をしたわけですが、今度は制度として動き始めた時に制度の有りようによっては、強制とボランティアの境目が曖昧になってくる可能性があるものですから、そこだけちょっと気をつけていただきたいと、お願いをしておきたいという点。それから、公務の範囲ですが、制度として始めていくと昼間の会議や夜間の会議も多分ありますね、その辺りの取扱いだとか対象職員が副主幹以下ですので、いわゆる超勤対象の職員があたるものですから、制度としてやるという部分とボランティア、イベントはボランティアと言っていますが、そういう時の区分けと言いますか、自分の仕事をしていて庁舎から出るまでの仕組み、公務としての立ち位置の問題と出てから現場というか区へ行った時の役割の話、職務の在り方みたいのところと二通りの面で考えないといけないと思っておりますが、そういう点で職員として動いていく時の役割の中で超勤だとか休日の時はどうするのかとかもあるので、そういう点では、職員組合の関係はどうなっているのかということもあります。もうひとつ直接関係はありませんけれど、行政連絡員制度って今でも残っているのですかね、職員が地域からの要望を聞いて庁内に持ってくるという仕組みがあつたと思っておりますが、それが残っていればそれとの兼ね合いは、整理をしていくことが

あるのかどうか。その辺りが分からなかったのでお尋ねします。

堀寄敬雄企画部長：これはあくまでモデル事業をやるにあたっての想定ですが、多くの自治区が土曜日、日曜日の午後に、夕方に会議をやられるケースというものが分かっております。そういうものにつきましては、当然、超過勤務扱いで、これはひと月に一度か二度ですので、あっても5時間くらいの超過勤務の範囲内かなということで、これはモデル事業の中でもう少ししっかりと掴んでいきたいと思っております。地区、地区の在り方によっては、それを超過勤務としてみてあげないといけないような中身もひょっとしたら、一律の判断ではなくてあるのかなと思っております。それはこのモデル事業の中で少し細かく検証したいところでもあります。あと、行政連絡員制度との差ですが、この事業につきましてはどちらかと言うと個人の方をお助けするというよりも、区長さんに非常に過大な負担がかかっている現状も実はありまして、区長さんがちょっとしたことを何処に相談したらいいのかみたいなことが、実は小さなことですが大きな負担になっているような現状があって、そういったところに職員が横に寄り添ってれば、区長さんのストレスが無くいろんな業務を進められるのではと、どちらかと言うと自治区をお助けしたいという考え方でありますので、ご理解をお願いします。

3 半田市新庁舎完成に係る今後の予定について

水野節総務部長：資料に基づき説明

質疑なし

4 半田市ハザードマップの配布について

斉藤清勝防災監：資料に基づき説明

質疑なし

5 半田市クリーンセンター太陽光発電所開所式について

折戸富和環境監：資料に基づき説明

質疑なし

6 子ども・子育て支援新制度について

藤田千晴子育て支援部長：資料に基づき説明

質疑なし

7 J R武豊線連続立体交差事業等 都市計画素案地元説明会について

笠原健次建設部長：資料に基づき説明

中川健一議員：2点お願いします。先ほど子育て支援のところでも地域ニーズに基づくというところもありましたけれど、具体的にどのような地域ニーズがあってやることになったのか、例えばどのような団体、市民からどのくらいの要望や署名などがあるのか、その辺りを教えていただきたいと思います。もうひとつは費用ですね、何にどのくらいかかるのか、うち市税はどれくらいかということについて、教えていただきたいと思います。

笠原健次建設部長：ニーズの話ですが、この事業につきましては、半田市として中心市街地を分断している鉄道を高架して地域を一体化したまちづくりを進めるということ判断いたしまして市で決めております。また、費用につきましては、J R武豊線高架事業につきましては、約161億、うち市の負担金が約35億。J R半田駅前土地区画整理事業につきましては、全体事業費が約64億、うち市費が46億。側道整備事業につきましては、事業費が約17億、うち市費が8億円という内訳になっております。

新美保博議員：J R武豊線連続立体交差事業、それから土地区画整理事業、随分前から話は聞いていますが、いったいつになったら終わるのだろうと、この計画というのはいつから始まってということが全然見えないというのが正直なところです。この地元説明会というのは、事業の中の今どこの位置にあるのか、まだドアをノックした段階なのか、事業はここまで進んできたということか、どの辺りに位置づけされているという説明が欲しいわけです。出来れば、全体のスケジュールというものを、これくらいになったら都市計画決定する、これくらいになったらこうなるというスケジュールくらいはあってもいいじゃないかと思いますが如何ですか。

笠原健次建設部長：以前からいろいろ計画を検討しておりましたけれど、今までは国、鉄道事業者、愛知県、半田市と、こういったところで事業内容についていろいろ協議、調査を進めてきておりました。今現在、どの位置だということでございますけれど、新美議員が言われたようにまだドアをノックした時点ということで、今後都市計画決定のスケジュールを進めていきますけれど、来年、平成27年の秋頃に都市計画決定がされる予定をしております。その後、平成28年度から事業認可をいただきまして、事業に着手し今のところ概ね10年程度で完了できるだろうと考えております。ただ、事業を進めるには、用地買収等が必要となりますので、そういったところによっては若干期間が延びる可能性はありますが、今のところ10年間で事業を完成させたいと考えております。

[報告案件]

- ・ 職員の懲戒処分等について

堀寄敬雄企画部長：資料に基づき説明

榊原純夫市長：事件の顛末につきましては、今企画部長から報告があったとおりでございますが、飲酒運転の根絶につきましては、私どもが常日頃から指導してまいったところでございますが、この様な状況の中、職員が酒気帯び運転をしたことは、誠に遺憾でございまして市民の皆さまの信頼を損なうこととなりましたことを改めて心よりお詫び申し上げます。今後二度とかかることのないよう職員の管理、監督に努め法令巡視のための取り組みを徹底し、一日も早く市民の皆さま方の信頼を回復することが出来るよう職員一丸となって努力してまいりますことをお約束申し上げます。誠に申し訳ございませんでした。

- ・ 半田赤レンガ建物整備工事について

堀寄敬雄企画部長：半田赤レンガ建物整備工事におきましてアスベストが発見さ

れました。そのことをご報告申し上げます。現在、施工中であります半田赤レンガ建物整備工事で行う既存工場設備の撤去におきまして、設備配管等の断熱材にアスベストが使用されていることが分かったことから必要な処置を行っております。発見個所につきましては、2か所ございまして、最初に発見されたのが1階の排水用沈殿槽周辺の配管部分であります。その後、ほかにこの様な所がないか再度細かいチェックをさせましたところ2階の撤去設備機器の一部からもアスベストが発見されております。1階部分につきましては、7月上旬に分析、現状測定を行い、愛知県環境保全課へ特定粉塵排出等作業実施届出書を提出し撤去を終了しております。2階部分につきましても同様の分析等を行いまして、本日、撤去を済ませております。これらに伴いまして、変更契約の必要が出てまいっております。12月議会におきまして、議案を付議させていただき予定でおりますので、現状としてご報告させていただきます。

新美保博議員：それは想定内なのか、想定外なのか。今の話を聞いていると変更契約ということは、想定外のように聞こえるけれど、あそこを作ったのは清水建設と聞いているけれど、作った業者は知っていたんではないだろうか、アスベストは途中からそういう指定を受けているから難しいかも知れないけれど、そこにそれがあるということは知っていたんじゃないかと思うけれど、年数があるから、担保期間がどのくらい分からないけれど、その部分についてはどうなるのか。

堀寄敬雄企画部長：建物にアスベストが使用されているかどうかという調査を平成18年と20年に半田市全体の公共施設について行っております。その時にどうして発見されなかったのかというご質問だと思いますが、今回発見されたのは、建物本体からではなくて、本体に付属する配管設備ですとか、工場設備の管のところからアスベストが出てきておりますので、建物自身の検査の段階では出なかったのですが、いろんな物を取り壊していく中の配管等から新たに発見されたということで、当初の想定にはしていなかった事態であります。

新美保博議員：18年の調査を聞いているわけではなくて、単純に清水建設が作った建物だと聞いているから、例えば本体も設備も全部清水がやったのだろうと、仮にやっていないとしても管理責任は清水にあるんじゃないかと思うわけ、今まで見えなかったけれど、管工事をやったところの責任は清水にあるんじゃないかと、お金の問題ではなくて、ここにアスベストを使ったと初めから分かっていたらここで変更することはないし、びっくりしてどうするのかということもないし、そういった責任は清水には無いのかということを知っているわけです。

堀寄敬雄企画部長：最初に発見された排水用沈殿槽というのは、日本食品加工のコーンスターチを作る工程の中の設備でありまして、厳密にはいつの時点のアスベストか分かってないのですが、こういったところから発見されたということは、当初からあったわけではなく、その後の日本食品加工の工場設備の中で設置されたアスベストだと思っております。

中川健議員：今の話は小さな問題では無いと思います。部長が説明した内容をすぐメモることも出来ませんし、内容も多岐に渡って詳細な説明があったわけな

ので、何故文章で説明が出来ないのか。何故口頭で説明しようと思ったのか。
堀寄敬雄企画部長：正式には12月議会へきちっとした形でご提出をさせていただく予定でおりましたので、現状としてアスベストが出て来ましたという事実をここではお伝えしようと思いましたが、特に資料等の準備を考えておりませんでした。

中川健一議員：文章で出していただきたいと思いますので、お願いできますか。
堀寄敬雄企画部長：アスベストが出て来たところの位置図と場所につきましては、文章で交換箱は入れさせていただきます。